

知っておきたい

石川のきのこ

—きのこ狩りを楽しむための基礎知識—



ブナ倒木に発生したウスヒラタケ（食）

石川県

はじめに

きのこ狩りは、人気のあるアウトドアレジャーの一つでもあります。きのこ狩りの最大の魅力は、森林を散策しながらきのこを採り、それを家庭で味わえることではないでしょうか。しかし、その反面一歩間違えば食中毒を起こし、場合によっては死亡するという悲惨な面も持ち合わせています。秋になると毎年きのこ中毒についてテレビや新聞等で幾度か報道されますが、表に出ない内々で処理されている軽度の中毒を含むとその数はかなり多いものと思われます。私たちのところにも時々きのこ中毒に関する問い合わせがありますが、その原因についてお聞きすると、見かけや図鑑・写真等で絵合わせをして安易に判断したり、昔から言い伝えられている間違った毒きのこの見分け方を信じて中毒を起こしている人がほとんどです。また、なかには他人からもらったきのこで中毒している人もいます。毒きのこのなかには食用きのここと類似して見分けが困難なものも多くあります。毒きのこを見分けるには、きのこを手にとりその特徴を覚えるしかありません。

この冊子はきのこ狩りの初心者の方を対象に、きのこ中毒を防ぐためのきのこの観察の仕方と本県できのこ狩りの対象となっている主な食用きのこについて記載するとともにいくつかの毒きのこの特徴をも記載しました。ここに記載したきのこは、ほんのわずかですが、きのこの観察の仕方やきのこに対する正しい知識を身につけ、中毒を起こさない楽しいきのこ狩りのために活用していただきたいと思います。



目 次

はじめに

I.	きのこの観察の仕方	
1.	きのこの各部の名称を覚える	4
2.	観察のポイント	4
3.	発生の仕方を観る	5
4.	発生場所を観る	6
II.	間違った食毒識別法	8
III.	紛らわしい毒きのこ、ここが違う	
1.	クサウラベニタケとウラベニホテイシメジ	11
2.	ツキヨタケとヒラタケ・シイタケ・ムキタケ	12
3.	ドクササゴとナラタケ	13
4.	カキシメジとチャナメツムタケ	14
5.	ニガクリタケとクリタケ	15
6.	オオワライタケとコガネタケ	16
7.	コガネホウキタケとホウキタケ	17
8.	ニセショウロとショウロ	18
IV.	主な食用きのこの特徴	
1.	ツバはあるがツボのないきのこ	
	フユヤマタケ (ちろり、ちよろ)	19
	マツタケ	20
	モミタケ (しろまつたけ、さまつ)	21
	ナメコ	22
	ヌメリスギタケ	23
	ナガエノスギタケ (しろまつたけ)	24
	ヌメリイグチ (いくち)	25
2.	ツバ・ツボがなくヒダが白色のきのこ	
	サクラシメジ (かっぱ)	26
	ハタケシメジ (あかしあごけ)	27
	シャカシメジ (かぶしめじ)	28
	ホンシメジ (おぐらしめじ、こもちしめじ)	29
	スギヒラタケ (すぎみみ、すぎごけ)	30
	エノキタケ (かきのきもたせ)	31
3.	ツバ・ツボがなくヒダが有色のきのこ	
	ヒメサクラシメジ (あずきごけ)	32
	シモコシ (しもおこし)	33
	クリフウセンタケ (こっさかぶり)	34
	カワムラアブラシメジ (ずぼ・ほんのめり)	35
	ヌメリササタケ (あおのめり、ずべり)	36

	ハツタケ (まつみみ)	37
	アカモミタケ (あかまつめ、とがみみ)	38
4.	ツバ・ツボがなく傘の裏が管孔のきのこ	
	アミタケ (しばたけ)	39
	マイタケ (まいこ)	40
5.	ツバ・ツボがなく傘の裏が針状のきのこ	
	ブナハリタケ (かのした)	41
	コウタケ (くまじく、じこう)	42
6.	その他のきのこ	
	ホウキタケの一種 (このみたけ)	43
	アラゲキクラゲ	44
V.	主な毒きのこの特徴と症状	
1.	ツバ・ツボともあるきのこ	
	テングタケ	45
	ドクツルタケ	46
	コテングタケモドキ	47
	タマシロオニタケ	48
2.	ツボはあるがツバのないきのこ	
	オオツルタケ	49
	フクロツルタケ	50
	ヒメコナカブリツルタケ	51
3.	ツバはあるがツボのないきのこ	
	ドクカラカサタケ	52
	ヒトヨタケ	53
	ミドリシギタケ	54
4.	ツバ・ツボがなくヒダが白色のきのこ	
	ヒロヒダタケ	55
	ドクベニタケ	56
5.	ツバ・ツボがなくヒダが有色のきのこ	
	サマツモドキ	57
	サクラタケ	58
	オオキヌハダトマヤタケ	59
	クサハツ	60
6.	その他のきのこ	
	キホウキタケ	61
	ウスタケ	62
VI.	もしきのこ中毒と感じたら	63
VII.	きのこ中毒をなくするために	63

I. きのこの観察の仕方

きのこを知るには、きのこを観察することが大切です。きのこを観察するための基本的なことを覚えましょう。

1. きのこの各部の名称を覚える



2. 観察のポイント

各部	観察事項
傘	大きさ、色、粘性・条線・イボ・環紋・ササクレの有無等
肉	色と変色、乳液の分泌性、味等
ヒダ	色と変色、乳液の分泌性、疎密度、つき方等
柄	色と変色、形、ツバ・ツボ・粘性・ササクレの有無、内部の状態等

◆傘の裏面の状態



疎



密



管孔状



針状



イボ状

ヒダ状

◆ヒダのつき方



直生



上生



湾生



離生



隔生



垂生

◆柄の内部の状態



中実



髓状



中空

3. 発生の仕方を観る

きのこの発生の仕方には、次の6つのタイプがあります。きのこを見つけたらあわてて採らず、その周辺を見渡し、きのこがどのような発生の仕方をしているかを観察することも重要です。



単生



散生



群生



束生



菌輪



重生

4. 発生場所を観る

きのこは様々な場所に発生し、それぞれの場所で生活様式が異なります。それゆえ、そのきのこがどのような場所に発生しているかを観察することは、きのこを見分ける上で重要なポイントとなります。

きのこの発生場所には次のようなところがあります。

1). 地上から発生するきのこ

ア. 樹木の生きた根に菌根をつくるきのこ

マツやブナ科等の生きた根に菌根をつくり共生するきのこで、マツタケ、アマタケ、ホンシメジ、ウラベニホテイシメジ等があります。



マツタケと菌根

イ. 落ち葉や枯れ枝から発生するきのこ

堆積した落ち葉や枯れ枝を分解するきのこで、ムラサキシメジ、モリノカレバタケ、アマタケ、スギエダタケ等があります。



落ち葉を堆積した場所に発生したムラサキシメジ

ウ. 焼け跡から発生するきのこ

焼き火をした跡によく発生するきのこで、ヤケノシメジ、ヤケアトツムタケ、ツチクラゲ等があります。



竹を燃やした跡に発生したヤケノシメジ

エ. コケ(苔)類に発生するきのこ

スギゴケ等の間に発生するきのこで、ヒナノヒガサやケコガサタケ等があります。



コケ類の間に発生したヒナノヒガサ

2) . 木から発生するきのこ

枯れ木や切り株等から発生するきのこで、シイタケ、ナメコ、ヒラタケ、エノキタケ等があります。



枯れ木に発生した
ヒラタケ

3) . 糞や堆肥から発生するきのこ

動物の糞や堆肥、モミガラ、ゴミ捨て場等に発生するきのこで、ネナガヒトヨタケ、ヒメクスヒトヨタケ、ワライタケ、ツクリタケ等があります。



積み上げた芝草上に
発生したネナガヒトヨ
タケ

4) . 昆虫やくも類に寄生するきのこ（冬虫夏草の類）

セミや蛾、カメムシ等の蛹や成虫に寄生するきのこで、サナギタケ、オオセミタケ、カメムシタケ等があります。



蛾の蛹に寄生して発生
したサナギタケ

5) . きのこの上に発生するきのこ

クロハツ、クロハツモドキから発生するヤグラタケやスッポンタケの蕾から発生するスッポンヤドリタケ等があります。



クロハツに発生した
ヤグラタケ

6) . その他

ホウノキ、カキノキ等の実から発生するきのこもあります。



ホウノキの実に発生し
たホソツクシタケ

II. 間違った食毒識別法

昔から、いろいろと食毒を識別する方法が言い伝えられていますが、それらはすべて間違いで、簡単に識別する方法はありません。食毒を識別するには、きのこをよく観察し、その特徴を覚えることが必要です。



縦に裂けるきのこは食べられる

ツキヨタケ、ドクササコ、ニガクリタケ、クサウラベニタケ等は毒きのこですが縦に裂けます。反対にハツタケ、アカハツ、アカモミタケは食用となりますが縦には裂けません。

縦に裂ける裂けないは全く食毒の判断基準にはなりません。



猛毒であるニガクリタケは
縦に裂ける

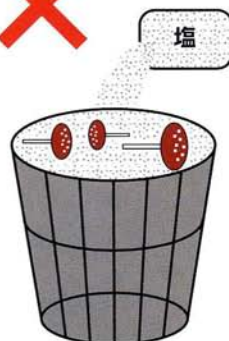


食用となるアカハツは
縦に裂けない



塩漬けすれば毒はなくなる

塩漬けは毒が薄くなることはあっても無くなることはなく、一部の軽い毒性のきのこには有効なこともあります。猛毒のきのこでは全く効果はありません。





地味な色をしたきのこは食べられる

ドクツルタケやクサウラベニタケは地味な色をしていますですが毒であり、鮮やかな色をしているタマゴタケは食べられます。見かけの色だけでは食毒は判断できません。

全体が白くてツバ、ツボがある仲間には猛毒のきのこがあるので特に注意が必要です。



ねずみ色をした毒きのこの
クサウラベニタケ

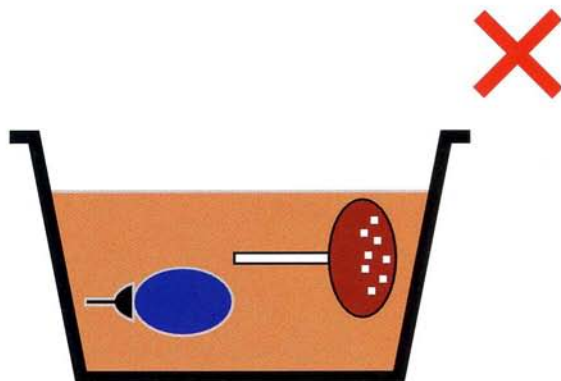


色は鮮やかであるが
優秀な食用きのこのタマゴタケ



ナスと一緒に煮ると毒はなくなる

料理として、きのことナスがよく合うということだけで、毒きのことナスを一緒に煮ても毒はなくなりません。





臭いが良ければ食べられ、悪いと毒である

毒きのこの中には、クサハツやオキナクサハツのように不快な臭いがするものもありますが、すべての毒きのこが不快な臭いがするとは限りません。また、キヌガサタケやスッポンタケは傘のグレバ（暗緑色をした粘液）から悪臭を放ちますが、これを取り除けば食用となります。

臭いで食毒の判断はできません。



悪臭を放つが、中国料理ではツースン（竹筴）と称して珍重されるキヌガサタケ



ナメクジや虫に食われているきのこは食べられない

よくナメクジや虫に食われているきのこを見かけますが、ナメクジや虫には無害であっても人間には無害とは言えません。



虫に食われた跡がある猛毒のフクロツルタケ

III. 紛らわしい毒きのこ、ここが違う

毒きのこには食用きのここと色や形がよく似ており、区別が困難なものもあります。きのこをよく観察し、その相違点を覚えましょう。

1. クサウラベニタケ(毒)とウラベニホテイシメジ(食)

クサウラベニタケ (ささしめじ)



- ★発生時期
秋
- ★発生場所
広葉樹林
マツ混生林
- ★発生の仕方
群生
- ★毒成分
コリン、ムスカリジンなど
- ★症状
激しい嘔吐、
下痢

ウラベニホテイシメジ (いっぽんしめじ)



- ★発生時期
秋
- ★発生場所
広葉樹林
- ★発生の仕方
群生

※共通点：ヒダが白色から肉色を帯びてくる

2. ツキヨタケ(毒)とヒラタケ・シイタケ・ムキタケ(食)

ツキヨタケ (ぶなたろう)



- ★発生時期
秋
- ★発生場所
ブナ倒木、枯木
- ★発生の仕方
重生
- ★毒成分
イルジンス
- ★症状
嘔吐、腹痛、
下痢

ヒラタケ (なまべら)



(広葉樹の倒木、枯木に発生する)

シイタケ



(広葉樹の倒木、枯木に発生する)

ムキタケ (のどやき)



(ブナ・ミズナラの倒木に発生する)

この3種類のきのこにはツキヨタケに示した特徴(光る、黒い斑紋、ツバ状の隆起)はない

3. ドクササコ(毒)とナラタケ(食)

ドクササコ



- ★発生時期
秋
- ★発生場所
竹林、スギ混生林
- ★発生の仕方
群生、束生
- ★毒成分
クリチジン
- ★症状
手足の先の痛みが1ヶ月以上続く

ナラタケ (もたせ)



- ★発生時期
秋～初冬、春
- ★発生場所
針葉樹、広葉樹の切り株、その付近
- ★発生の仕方
束生、群生

4. カキシメジ(毒)とチャナメツムタケ(食)

カキシメジ



- ★発生時期
秋
- ★発生場所
広葉樹林、
マツ混生林
- ★発生の仕方
単生～群生
- ★毒成分
不明
- ★症状
嘔吐下痢、
腹痛

チャナメツムタケ



- ★発生時期
晩秋
- ★発生場所
落葉広葉樹林
の埋設木の周
辺
- ★発生の仕方
群生

※共通点：傘には粘性がある

5. ニガクリタケ(毒)とクリタケ(食)

ニガクリタケ



- ★発生時期
年中
- ★発生場所
各種樹木の切り株、埋設材
- ★発生の仕方
群生、束生
- ★毒成分
ファシキユ
ロールE、F
- ★症状
嘔吐下痢、
けいれん、
死亡

クリタケ (さくらもたせ)



- ★発生時期
晩秋
- ★発生場所
広葉樹の切り株、倒木
- ★発生の仕方
束生

6. オオワライタケ(毒)とコガネタケ (要注意)

オオワライタケ



- ★発生時期
夏～秋
- ★発生場所
広葉樹、針葉樹の切り株
- ★発生の仕方
束生
- ★毒成分
不明
- ★症状
ふるえ、めまい、寒気、狂乱状態

コガネタケ



- ★発生時期
夏～秋
- ★発生場所
林内、路傍
- ★発生の仕方
群生

※共通点：柄には膜質のツバがある

7. コガネホウキタケ(毒)とホウキタケ(食)

コガネホウキタケ (はらくだし)



- ★発生時期
秋
- ★発生場所
各種林内
- ★発生の仕方
散生、群生
- ★毒成分
不明
- ★症状
下痢、腹痛

(朱紅色のハナホウキタケ、レモン色のキホウキタケも同様に有毒である)

ホウキタケ (ねずみのて)



- ★発生時期
秋
- ★発生場所
アカマツ、
コナラ林
- ★発生の仕方
群生、菌輪

8. ニセショウロ(毒)とショウロ(食)

ニセショウロ



- ★発生時期
夏～秋
- ★発生場所
林地周辺、公園のやせ地
- ★発生の仕方
群生
- ★毒成分
不明
- ★症状
軽い胃腸障害

(ニセショウロの仲間には有毒のきのこが多い)

ショウロ



- ★発生時期
春、秋～初冬
- ★発生場所
海岸クロマツ林
- ★発生の仕方
群生

IV. 主な食用きのこの特徴

1. ツバはあるがツボのないきのこ

フユヤマタケ (ちろり・ちよろ)



★きのこの特徴

- *傘: 縁部は内側に巻き、粘性がある
- *肉: 白色～淡黄色
- *ヒダ: 疎、淡黄色
- *柄: 不完全なツバ、その下方は粘性あり

ヒダのつき方



垂生

柄の内部



中実

中空

発生の仕方



散生

群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
										—	

★発生場所

アカマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズナ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地	道ばた
◎	◎										

* マツ林の地上に発生する

マツタケ



★きのこの特徴

*傘：繊維状の鱗片に覆われる *肉：白色、特有の香りあり

*ヒダ：密、白色 *柄：膜質のツバあり

ヒダのつき方



湾生

柄の内部



中実

発生の仕方



菌輪

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					—				—————		

★発生場所

アカマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズラ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地 道ばた
○										

*アカマツ林の地上に発生する

モミタケ (しろまつたけ・さまつ)



★きのこの特徴

- *傘：粘性あり *肉：厚く白色 *ヒダ：密、白色～帯黄白色
- *柄：膜質の二重のツバあり、基部は急に細くなる

ヒダのつき方



垂生

柄の内部



中実

発生の仕方



散生

群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アカマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズナ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地	道ばた
◎		◎									

*アカマツ林、モミ林の地上に発生する

ナメコ



★きのこの特徴

- *傘：粘液に厚く覆われ、縁部は永く内側に巻く
- *肉：淡黄色
- *ヒダ：密、淡黄色
- *柄：粘液に包まれゼラチン質のツバあり

ヒダのつき方



直生

柄の内部



中実

発生の仕方



群生



束生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミズ ナ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
								○			

*ブナの倒木に発生する

ヌメリスギタケ



★きのこの特徴

- *傘：粘性あり、三角状の小鱗片を散在する *肉：淡黄色
 *ヒダ：密、黄色から銹色になる *柄：ツバより下方は粘性あり

ヒダのつき方



直生

上生

柄の内部



中空

髄状

発生の仕方



束生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

ア カ マ	カ ツ	海 岸 ク ロ マ ツ	モ ミ	ス ギ	ア テ	コ ナ ラ ク ヌ ギ	ミ ズ ラ	ブ ナ	其 他 広 葉 樹	公 園	畑 地 道 ば た
						○	○	◎	○		

*広葉樹の倒木、枯れ木に発生する

ナガエノスギタケ（しろまつたけ）



★きのこの特徴

- *傘：弱粘性で、淡褐色の鱗片を散布する *肉：厚く白色、異臭あり
 *ヒダ：密、白色から褐色になる *柄：膜質のツバあり、地中深く伸びる

ヒダのつき方



上生

柄の内部



中実

発生の仕方



群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アマツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミズ ナ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
					◎	◎	◎	◎		

*モグラ類の巣付近の排泄所跡に発生する

ヌメリイグチ (いくち)



★きのこの特徴 (類似のチチアワタケにはツバがない)

*傘：強い粘性あり、表皮は剥ぎやすい *肉：白色～淡黄色

*管孔：小型、レモン色のち褐黄色 *柄：膜質のツバあり、細粒点を密布する

管孔のつき方



直生

やや垂生

柄の内部



中実

発生の仕方



群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズナ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地 道ばた
◎	◎									

*マツ林の地上に発生する

2. ツバ・ツボがなくヒダが白色のきのこ

サクラシメジ (かっぱ)



★きのこの特徴

- *傘：湿時粘性あり
- *肉：白色～淡紅色、苦みあり
- *ヒダ：やや疎、白色から暗紅色のシミを生じる
- *柄：繊維状

ヒダのつき方



直生

垂生

柄の内部



中実

発生仕方



群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
								—			

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミズ ナ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
						◎	◎	◎			

*広葉樹林（ブナ科）の地上に発生する

ハタケシメジ (あかしあごけ)



★きのこの特徴

- *傘：縁部は永く内側に巻く *肉：厚く白色
- *ヒダ：密、白色 *柄：粉状

ヒダのつき方



直生

湾生

柄の内部



中実

発生仕方



束生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				—					—		

★発生場所

アマツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミズ ナ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
					○	○	○	○	◎	◎

*埋もれた木材から菌糸束を伸ばし発生する

シャカシメジ (かぶしめじ)



★きのこの特徴

- *傘：縁部は永く内側に巻く *肉：白色～淡灰色
- *ヒダ：密、白色 *根株から多数の柄を出し小さな傘をつける

ヒダのつき方



直生

やや垂生

柄の内部



中実

発生仕方



束生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アカマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズナ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地	道ばた
○					◎						

*広葉樹林（ブナ科）、アカマツ混生林の地上に発生する

ホンシメジ (おぐらしめじ、こもちしめじ)



★きのこの特徴

*傘：縁部は幼時内側に強く巻く *肉：白色

*ヒダ：密、白色 *柄：下部が肥大する

ヒダのつき方



湾生

やや垂生

柄の内部



中実

発生の仕方



束生

散生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アカマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズラ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地 道ばた
◎					◎					

*アカマツ林、広葉樹林（ブナ科）の地上に発生する

スギヒラタケ（すぎみみ・すぎごけ）（毒）



★きのこの特徴

- *傘：耳形、扇形
- *肉：白色
- *ヒダ：密、白色
- *柄：なし

発生仕方



重生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
								—			

★発生場所

アマツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミズ ラ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
○			○	○						

*針葉樹の古株に発生する

エノキタケ（かきのきもたせ）



★きのこの特徴

- *傘：強い粘性あり
- *肉：白色～淡黄色
- *ヒダ：やや疎、白色
- *柄：短毛を密生し、黒ずむ

ヒダのつき方



上生

柄の内部



中空

発生の仕方



束生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミナ ズラ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
						○	○	○	○		

*広葉樹の倒木、切り株等に発生する

3. ツバ・ツボがなくヒダが有色のきのこ

ヒメサクラシメジ (あずきごけ)



★きのこの特徴

- *傘：湿時粘性あり、中央に小鱗片あり
- *肉：白色～淡紅色
- *ヒダ：疎、につけい色を帯びる
- *柄：縦に走る繊維紋あり

ヒダのつき方



直生

垂生

柄の内部



中実

発生仕方



単生

群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミズ ナラ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
			○								

*モミ林の地上に発生する

シモコシ (しもおこし) (要注意)



★きのこの特徴 (類似のキシメジには苦味がある)

- *傘：粘性あり、細鱗片を密生 *肉：白色 *ヒダ：密～やや疎、硫黄色
- *柄：基部は球根状 *全体に硫黄色をおびる

ヒダのつき方



湾生

離生

柄の内部



中実

発生の仕方



群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
										—	

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミズ ナラ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
○	◎										

*マツ林の地上に発生する

クリフウセンタケ (こっさかぶり)



★きのこの特徴

- *傘：弱い粘性あり、周辺に絹糸状の皮膜破片を付着 *肉：白色
 *ヒダ：密、白色のちにつけい色を帯びる *柄：クモの巣膜あり

ヒダのつき方



直生

上生

柄の内部



髄状

中実

発生の仕方



群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アカマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズラ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地 道ばた
○					◎	◎				

*広葉樹林（ブナ科）、アカマツ混生林の地上に発生する

カワムラアブラシメジ（ずぼ・ほんめり）



★きのこの特徴

*傘：粘液に覆われ、周辺に溝線あり *肉：白色～黄土色

*ヒダ：密、粘土褐色 *柄：クモの巣膜と強い粘性あり

ヒダのつき方



直生

上生

柄の内部



中実

発生仕方



散生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマツ	モ	ミ	ス	ギ	ア	テ	コナラ クヌギ	ミ	ズ	ブ	ナ	その他 広葉樹	公	園	畑	地 道ばた
									◎	◎	◎	◎						

*広葉樹林（ブナ科・カバノキ科）の地上に発生する

ヌメリササタケ (あおのめり・ずべり)



★きのこの特徴

- *傘：著しい粘液に覆われる
- *肉：褐色～紫色
- *ヒダ：やや疎、帯紫色のちさび色
- *柄：クモの巣膜あり、その下は粘液に覆われる

ヒダのつき方



直生

上生

柄の内部



中実

発生仕方



群生

散生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アカマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズナ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地	道ばた
◎					◎	◎					

*アカマツ林、広葉樹林（ブナ科）の地上に発生する

ハツタケ (まつみみ)



★きのこの特徴 (全体が淡橙黄色をした類似のアカハツも食用となる)

- *傘：濃淡の環紋あり
- *肉：類白色、暗ワイン赤色の液を分泌し、青緑色に変色
- *ヒダ：密、ワイン赤色
- *柄：やや粉状

ヒダのつき方



直生

やや垂生

柄の内部



髄状

中空

発生の仕方



単生

群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
					—			—			

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミズ ナ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
○	○										

*マツ林の地上に発生する

アカモミタケ（あかまつめ、とがみみ）



★きのこの特徴

*傘：不明瞭な環紋あり *肉：淡橙色、傷口から橙朱色の液を出すが変色しない

*ヒダ：密、橙朱色 *柄：クレータ状の窪みあり

ヒダのつき方



直生

やや垂生

柄の内部



中空

発生の仕方



群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズラ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地	道ばた
		◎									

*モミ林の地上に発生する

4. ツバ・ツボがなく傘の裏が管孔のきのこ

アマタケ (しばたけ)



★きのこの特徴

- *傘：粘性あり
- *肉：類白色～淡橙色
- *管孔：オリーブ黄色
- *柄：ツバ・ツボはない
- *熱湯に入れると全体が紫色に変色

管孔のつき方



やや垂生

柄の内部



中実

発生の仕方



群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				—				—			

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミナ ズラ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
○	○										

*マツ林の地上に発生する

マイタケ（まいこ）



★きのこの特徴

- *傘：扇形、へら形で、放射状繊維紋と不鮮明な環紋あり
- *肉：白色 *管孔：小形、白色 *柄：基部から無数に分岐する

管孔のつき方



垂生

柄の内部



中実

発生の仕方



群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズナラ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地 道ばた
						○		○		

*広葉樹（特にミズナラ、クリ）の根際に発生する

5. ツバ・ツボがなく傘の裏が針状のきのこ

ブナハリタケ (かのした)



★きのこの特徴

- *傘：扇形、へら形、基部は多数が合着
- *肉：多湿柔軟で、強い香りあり
- *傘の裏面：鋭く尖る軟質の針状
- *柄：なし

発生の仕方



重生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アカマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズナ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地 道ばた
							◎			

*広葉樹（主にブナ）の倒木に発生する

コウタケ（くまじく・じこう）



★きのこの特徴

- *傘：粗大な鱗片が散生、中央は基部まで窪む
- *肉：桃紅白色で、特有の香りあり
- *傘の裏面：針が密生、
- *柄：ほぼ平滑

発生の仕方



群生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アカマツ	海岸クロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラクヌギ	ミズラ	ブナ	その他広葉樹	公園	畑地	道ばた
○					◎	◎					

*広葉樹林（ブナ科）、アカマツ混生林の地上に発生する

6. その他のきのこ

ホウキタケの一種（このみたけ）



★きのこの特徴

- *形状：全体が白色で、カリフラワー状、白サンゴ状
- *肉：白色

柄の内部



中実

発生の仕方



群生

菌輪

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									—		

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマツ	モミ	スギ	アテ	コナラ クヌギ	ミズ ナ	ブナ	その他 広葉樹	公園	畑地 道ばた
						◎					

*広葉樹林（ブナ科）の地上に発生する

アラゲキクラゲ



★きのこの特徴

- *形状：円盤状、耳状 *肉：ゼラチン質～やや軟骨質
- *基物に着生し、直立の毛を密生

発生の仕方



重生

★発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		—————							—————		

★発生場所

アマ	カツ	海岸ク ロマト	モ	ミ	ス	ギ	ア	テ	コナラ クヌギ	ミ	ズ	ブ	ナ	その他 広葉樹	公	園	畑	地 道	ばた
														○					

*広葉樹の枯れ木、倒木等に発生する

V. 主な毒きのこの特徴と症状

1. ツバ・ツボともあるきのこ

テングタケ



★きのこの特徴

- *傘：粘性がある、周辺部に溝線がある、ツボの破片を散在する
- *肉：白色
- *ヒダ：密、白色
- *柄：ツバより下はササクレにおおわれる

ヒダのつき方



離生

柄の内部



中空

発生の仕方



単生



群生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：マツ林、広葉樹林の地上に発生する

★毒成分：イボテン酸、ムッシモール、ムスカリン

★症状：精神錯乱、幻覚、視聴覚障害、嘔吐

ドクツルタケ



★きのこの特徴

- *傘：粘性がある、周辺に溝線はない
- *肉：白色
- *ヒダ：やや密～やや疎、白色
- *柄：ツバより下はササクレにおおわれる

ヒダのつき方



離生

柄の内部



中実

発生の仕方



単生

散生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：マツ林、広葉樹林の地上に発生する

★毒成分：ファロイジン、アマニチンなど

★症状：激しい嘔吐、腹痛、下痢、肝・腎・心臓障害、死亡

コテングタケモドキ



★きのこの特徴

- *傘：多少粘性がある、周辺に溝線はない、ツボの残片を付着する
- *肉：白色
- *ヒダ：密、白色
- *柄：下部は便腹状にふくらむ、ツバより下は多少ササクレる

ヒダのつき方



離生

柄の内部



中実

髄状

発生の仕方



散生

群生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：広葉樹林、マツ混生林の地上に発生する

★毒成分：不明

★症状：胃腸障害、猛毒の可能性あり

タマシロオニタケ



★きのこの特徴

- *傘：全面に多数の角錐状の小イボを散在する
- *肉：白色
- *ヒダ：密、白色
- *柄：繊維状小鱗片におおわれる、基部はカブラ状に肥大する、ツボは粒状である

ヒダのつき方



離生

柄の内部



髓状

発生の仕方



散生

- ★発生時期：夏～秋
- ★発生場所：広葉樹林、マツ混生林の地上に発生する
- ★毒成分：ペンチン酸、ヘキサジエン酸など
- ★症状：肝・腎臓障害、死亡

2. ツボはあるがツバのないきのこ

オオツルタケ



★きのこの特徴

- * 傘：周辺に溝線がある
- * 肉：白色
- * ヒダ：密、白色、縁部が暗灰色を帯びる
- * 柄：暗灰色の微粉におおわれ、だんだら模様をなす

ヒダのつき方



離生

柄の内部



中実

発生の仕方



単生

散生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：広葉樹林、マツ混生林の地上に発生する

★毒成分：不明

★症状：胃腸障害の危険あり

フクロツルタケ



★きのこの特徴

- * 傘：淡赤褐色の綿屑状の小鱗片におおわれる
- * 肉：白色、傷つけると赤褐色に変色する
- * ヒダ：密、初め白色であるが淡赤褐色を帯びる
- * 柄：鱗片におおわれる

ヒダのつき方



離生

柄の内部



中空

発生の仕方



単生

散生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：広葉樹林、マツ林、モミ林の地上に発生する

★毒成分：不明

★症状：肝・腎・心臓障害、死亡

ヒメコナカブリツルタケ



★きのこの特徴

- *傘：灰色の粉や綿屑状のものでおおわれ、溝線がある
- *肉：白色
- *ヒダ：やや疎、白色
- *柄：基部は球根状にふくらむ。ツボは粉末状である

ヒダのつき方



離生

柄の内部



中空

発生の仕方



散生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：広葉樹林、マツ混生林の地上に発生する

★毒成分：不明

★症状：胃腸障害

3. ツバはあるがツボのないきのこ

ドクカラカサタケ



★きのこの特徴

- *傘：中央には黄褐色の大形の鱗片、周辺には小片を散在する
- *肉：白色、傷つけると赤褐色に変色する
- *ヒダ：密、白色
- *柄：基部はカブラ状に肥大する、白色から汚褐色を帯びる

ヒダのつき方



隔生

柄の内部



中空

発生の仕方



群生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：林地、竹林の地上に発生する

★毒成分：不明

★症状：嘔吐、下痢

ヒトヨタケ



★きのこの特徴

- *傘：灰色の細鱗片におおわれる、溝線を現し、放射状に裂ける
- *肉：白色
- *ヒダ：密、白色からやがて黒色液化する
- *柄：下方に不完全なツバの傷痕がある

ヒダのつき方



上生

柄の内部



中空

発生の仕方



群生

★発生時期：春～秋

★発生場所：広葉樹の腐れ木や埋もれ木の付近に発生する

★毒成分：コプリン

★症状：酒を飲みながら食べると頭痛、呼吸困難、悪酔いする

ミドリスギタケ



★きのこの特徴

- * 傘：粘性がなく小鱗片と不規則な亀裂を生じる
- * 肉：淡紅～帯緑色、苦味がある
- * ヒダ：やや密
- * 柄：縦の繊維紋がある

ヒダのつき方



直生

上生

柄の内部



中実

発生の仕方



単生

束生

★発生時期：春～秋

★発生場所：針葉樹、時に広葉樹の材上、切り株に発生する

★毒成分：不明

★症状：幻覚症状

4. ツバ・ツボがなくヒダが白色のきのこ

ヒロヒダタケ



★きのこの特徴

- * 傘：放射状の繊維紋をあらわす
- * 肉：白色
- * ヒダ：疎、白色、灰褐色のふちどりがある
- * 柄：繊維状で、基部には白色ひも状の菌糸束がある

ヒダのつき方



湾生

柄の内部



中実

発生の仕方



単生



群生

- ★発生時期：夏～秋
- ★発生場所：広葉樹の腐れ木やその付近に発生する
- ★毒成分：不明
- ★症状：腹痛、下痢

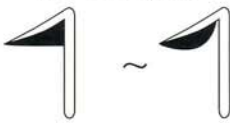
ドクベニタケ



★きのこの特徴

- *傘：湿時粘性がある、周辺に溝線がある、表皮はぎやすい
- *肉：白色、強烈な辛みがある
- *ヒダ：やや疎、白色
- *柄：しわ状の縦線がある

ヒダのつき方



直生

離生

柄の内部



髓状

発生の仕方



単生

群生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：マツ林、広葉樹林の地上に発生する

★毒成分：不明

★症状：胃腸障害

5. ツバ・ツボがなくヒダが有色のきのこ

サマツモドキ



★きのこの特徴

- * 傘：暗赤褐色の微細な鱗片を密布する
- * 肉：黄色
- * ヒダ：密、黄色
- * 柄：傘同様、赤褐色の鱗片がある

ヒダのつき方



直生

湾生

柄の内部



中実

発生の仕方



単生

束生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：針葉樹の切り株や腐れ木に発生する

★毒成分：不明

★症状：軽度の胃腸障害の危険あり

サクラタケ



★きのこの特徴

- *傘：湿っているとき条線がある
- *肉：大根の臭いがある
- *ヒダ：やや疎、淡紅色、淡紫色でときに白色の場合もある
- *柄：基部に細毛を密生する

ヒダのつき方



直生

湾生

柄の内部



中空

発生の仕方



群生

散生

★発生時期：春～秋

★発生場所：林内の堆積した落葉落枝の間に発生する

★毒成分：ムスカリン

★症状：腹痛、下痢など

オオキヌハダトマヤタケ



★きのこの特徴

- *傘：繊維状で、後放射状に裂ける
- *肉：白色
- *ヒダ：やや密、黄白色
- *柄：繊維状である

ヒダのつき方



上生

離生

柄の内部



中実

発生の仕方



単生

散生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：広葉樹林の地上に発生する

★毒成分：ムスカリン

★症状：発汗、呼吸困難

クサハツ



★きのこの特徴

- *傘：湿時粘性がある、放射状の溝線と粒状線がある
- *肉：白色、辛味と不快臭がある
- *ヒダ：やや密、淡帯黄色
- *柄：白色であるが淡黄褐色のシミを生じる

ヒダのつき方



離生

柄の内部



中実

中空

発生の仕方



群生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：広葉樹林、針葉樹林の地上に発生する

★毒成分：不明

★症状：胃腸障害

6. その他のきのこ

キホウキタケ



★きのこの特徴

- * 形状：基部から樹枝状に分岐する
- * 基部：白色
- * 柄部：レモン色
- * 肉：白色

発生の仕方



単生



群生

★発生時期：秋

★発生場所：各種林内の地上に発生する

★毒成分：不明

★症状：軽い下痢、嘔吐

ウスタケ



★きのこの特徴

- *傘：ラッパ形で、基部まで深く窪む
- *肉：白色
- *ヒダ：しわ状
- *柄：下方に次第に細くなる

ヒダのつき方



垂生

発生の仕方



群生

★発生時期：夏～秋

★発生場所：モミ林、アカマツ林の地上に発生する

★毒成分：アガリチン酸、ノルカペラ酸など

★症状：下痢、嘔吐

VI. もしきのこ中毒と感じたら

きのこを食べたあと、胸がむかついたり、腹痛がすれば、きのこ中毒を疑う必要があります。その時はまず応急処置を施し、直ちに医者の手当を受けるようにしてください。

1. 応急処置法

- ア. 喉に手指を突っ込み、できるだけ胃の中の物を吐き出す。
- イ. 水や食塩水を飲み、何回も吐き出す。

2. 医者の手当を受ける場合の留意事項

- ア. きのこによって有毒成分が異なるので、食べ残しや未使用のきのこを持参し、適切な手当を受ける。
- イ. 医者できのこの同定ができない場合は、直ちに専門家に連絡をとり、きのこの種類を明らかにする。

VII. きのこ中毒をなくするために

1. 昔から言い伝えられる食毒識別法は信用しない

—食毒を識別するにはきのこの特徴を覚えるしかない—

2. 図鑑や写真で絵合わせして安易に判断しない

—きのこの特徴を必ず調べる—

3. 名前のわからないきのこや自信のないきのこはよく知っている人に聞く

—名前のわかったきのこ以外は食べない—

4. 腐敗しかけたきのこはたとえマツタケでも中毒する

—食べられるきのこでも変色しかけたきのこは食べない—

5. きのこを採るときは丁寧に採り、わからないきのこは分けして持ち帰る。

—毒きのこが混入しないように注意する—

参考文献

- 伊藤誠哉：日本菌類誌 第2巻第5号 1959
今関六也・本郷次雄：原色日本新菌類図鑑（I）保育社 1987
—— ・ —— ：原色日本新菌類図鑑（II）保育社 1989
今関六也・大谷吉雄・本郷次雄：山溪カラー名鑑 日本のきのこ
山と溪谷社 1988
清水大典・伊沢正名：きのこ 見分け方食べ方 家の光協会 1988
古川久彦・山下 衛：きのこ中毒 共立出版 1993
池田良幸：石川県産きのこ検索図鑑 橋本確文堂 1990
—— ：石川のきのこ図鑑 北国新聞社出版局 1996
本郷次雄監修：山溪フィールドブック10 きのこ 山と溪谷社 1994

知っておきたい

石川のきのこ

—きのこ狩りを楽しむための基礎知識—

平成11年3月

企画・編集 石川県林業試験場

〒920-2114

石川県石川郡鶴来町三宮ホの1

TEL 07619-2-0673

発行 石川県農林水産部中山間地域対策総室

〒920-8580

金沢市広坂2丁目1番1号

TEL 076-223-9245（直通）

